

98. <アラカルト>

ここ半年前から最近まで、平日の食事は、朝は味噌ラーメン、昼は職場の日替わり弁当と固定化していました。健康診断の結果が冴えなく、食生活の改善について漠然と考えていたところ、バナナの安売りに出会い、その日を境に昼食はバナナと決めました。朝食バナナダイエットの話は、後から思い出しました。

バナナの昼食は、健康維持、向上の思惑で始めたのですが、食事時間の短縮(5分程度)と食費の削減(半分以下)の効用も生じました。

ところで、JS 防食技術マニュアルにおいて、腐食抑制技術は多岐に亘りますが、防食技術であるコンクリート被覆工法は、塗布型ライニング工法とシートライニング工法の2つのみ規格化しています。

技術開発部においては、モルタルに高い耐硫酸性を持たせることにより構造物の耐硫酸性を向上させる耐硫酸モルタル工法の調査研究を進めています。従来の防食被覆層を設けないことにより、その工程が省略でき、工期短縮や仮設工事費の削減につながります。特に、今後の増加が予測される改築更新時には、この点が大きなメリットとなりますので、普及に向け努力しています。幸いにも徐々に、実施設において採用されつつあります。

また、耐硫酸モルタルに関するものでは、高効率施工が可能な乾式吹付けの課題である粉塵、リバウンドを低減できる工法、新たな素材としては、現場硬化型シートライニング工法等の研究も進めています。個性の有る各現場の条件に、適確かつ柔軟に対応できるようメニューの多様化にも取り組んでいます。

なお、バナナによる身体の変化は現れていません。この先、どうなる事やら・・・

<総括主任研究員 佐野勝実>

※ J S 技術開発情報メール No. 107 号(2010/10/7)に掲載